



スタッフのつぶやき

サポートのスタッフが、読者の皆様に一言お話しさせていただくコーナーです。

本格的にテレワーク体制に入って1年近くが経過した真鍋です。

妻は幼稚園勤務のためテレワークという訳にはいかず、早朝から出勤しておりますので、朝から洗濯して家族を送り出すのも私の仕事になりました。

こうして時間の配分が通勤していたころと大きく変化し、特に、夕食時に家族が揃うというのが私にとって一番の幸せです。

以前は通勤経路が長かったということもあり、「パパは土日しか家にいない」と思われていたぐらいですから、そのころと比較すると、本当にリセットボタンを押してやり直しているのかと思うぐらいの劇的な変化です。

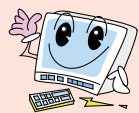
デメリットとしては、世間で散々言われていますが運動不足に陥りがちです。ですので、早朝のウォーキングを試してみることにしました。

習慣化する工夫として、Voicyを聴きながら歩くことにしています。

ちなみにフォローしているパーソナリティは、(敬称略)キングコング西野、イケハヤ、つつみ、KYOKO、聖丁、澤円、新 R25 渡辺将基、箕輪厚介といった面々です。

Voicyを聴いておられる方がいらっしゃいましたら、おすすめパーソナリティを教えてください！ シェアしましょう！

(開発部 真鍋 智貴)



IT雑情報

【タブレットをサブディスプレイに】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

ノートパソコンで作業しているときに、画面をもう少し広く使いたい。でも会社で仕事してる時のようにディスプレイを置いておく場所がないと、あきらめている方もおられると思います。

ipadなどのタブレットがあれば、windowsPCに接続して、サブ画面として使えるアプリをご紹介します！

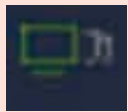
- 手順
- ① spacedesk というフリーソフトを、パソコンとタブレットの両方にインストール。
 - ② パソコン、タブレットでアプリ (spacedesk) を起動。
 - ③ タブレットでアプリからパソコンに接続
 - ④ パソコンで画面を設定



① パソコン

<https://spacedesk.net/> からアプリをダウンロードします。

ご自身の windows にあったソフト (DRIVER) をダウンロードし、インストールします。



← インストールが完了するとタスクトレイに左のアイコンが表示されます。

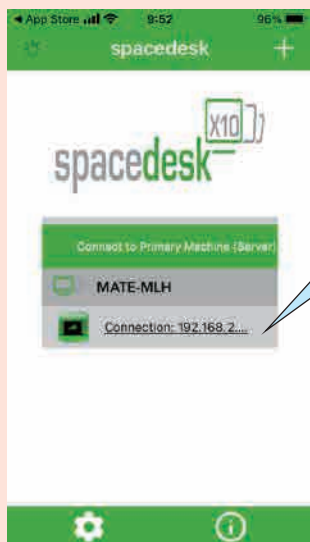
② ipad

App store から spacedesk を検索・入手します。



③ タブレットでアプリを起動

コンピューター名が表示されます。タップすると接続されます。



④ パソコンでスタートボタン→設定→システム→マルチディスプレイ→複数のディスプレイ→表示画面を拡張する を選択する

これでタブレットをサブディスプレイとして利用できます。

参考

<https://www.youtube.com/watch?v=fShKOBKSu9Q&list=RDegQLko641j&index=8>



【注意】パソコンとタブレットが同じネットワーク環境に接続されている必要がありますのでご注意ください。

読者 訪問



第134回

お伺いした会社	株式会社ナルトシザー
お話を伺った方	代表取締役 長谷川 敏雄 様
会社の所在地	〒665-0821 兵庫県宝塚市安倉北 2-19-23
連絡先など	TEL:0797-81-1263 FAX:0797-86-2850
ホームページ	https://www.narutosissors.co.jp/
事業内容	理美容ハサミの製造・卸売業

今回は理美容業界で理容師さんや美容師さんが一人前になったら買いたい、使いたいというあこがれのハサミを製造なさっているナルトシザーさんの、この度竣工したばかりの新社屋に長谷川社長をお訪ねしました。そして、真新しい商談室でいっぱいの胡蝶蘭に囲まれてお話を伺いました。

プロ用のハサミは数万円から10万円程度だそうですが、ナルトシザーさんのハサミはなんと20万円前後から30万円もするものまであるということ、まさにハサミ界のベンツとも言われているそうです。



職人が使うものだからこだわりもある。だから顧客の手の形に合わせたり、好みの切れ味に合わせたりしてカスタマイズして提供されているそうです。

ナルトシザーさんは1963年の創業で現社長は3代目にあたられます。

創業社長はもともと徳島県鳴門市のご出身で関西で理髪店をなさっていました。

床屋さんでは毎晩ハサミを研ぐのが日課になっていたそうで、研がなくてもいいハサミ

が欲しくて創業なさったのだそうです。刃の摩耗を少なくして研がなくてもいい“21世紀の不思議なハサミ”を開発して売り出しました。プロ用ハサミが数千円から1~2万円だったという当時、5~10万円もする高価なハサミでしたが爆発的に売れました。床屋さんがローン組んでまで買って行ったそうです。今でもまだ当時のハサミをメンテナンスすることもあるそうで、やはりいいものは長持ちするのですね。

長谷川社長は3代目の社長にあたられます。1994年(平成6年)11月に同社に入社されました。

それまでアメリカで商社員として働いておられたそうですが、奥様の仕事の関係もあって帰国し、同社の東京営業所に入社されました。トップセールスマンとして活躍され、東京支店長から統括部長、そして社長と階段を駆け上がられました。社長になられてからリーマンショックなどいろいろ厳しいときも経験されましたが、7~8年前に兵庫県中小企業家同友会に入会され、経営手腕を磨くとともにいろいろなことが実ってきて、いい商品も次々と出すことが出来ました。そして『がっちりマンデー』をはじめいろいろなテレビで紹介されたりもして、業界人のあこがれのハサミとしてその地位をしっかりと築いてこられました。

2年ほど前、同社が販売管理システムの導入を検討されていたとき、ある業者からとった見積があまりにも高いので顧問税理士さんが他社の見積もりも取りましょと提案され、その税理士さんの知り合い経由で当社に声が掛かりシステムのご提案をさせていただきました。その結果、当社をご採用いただき現在に至っております。昨年、UTM(FortiGate)を導入させていただき、外からiPadでシステムに接続できるようになるなど、更に便利にお使いいただいております。



「ハサミはキッチンばさみをはじめ医療用などいろいろあるが、理美容のものに今後も特化していく。そして世界中に市場はあるのでインターナショナルに展開し、職人さんでもしっかりといい給料を取ってもらって、お子さんが『お父さんがあの会社で働いている』と自慢できるような会社になりたい」とおっしゃいます。

3月には新社屋の1階に“ナルトミュージアム”なるものを作り、理美容ハサミに特化してやってきた歴史を地元の方々にも見てもらえるようにされるのだそうです。「一般の人たちは、当社のお客さんのお客さんだから大切にしたい」とおっしゃいます。

50%近くの自己資本比率を誇る優良企業として、そして世界に日本人の技術を伝える企業として、これからもますますのご発展を祈念いたしております。(米田)



長谷川社長



本社外観



いっちょかみ

“一丁噛み”が行く!

第148回:2020年度IT導入補助金成果報告

1月27日、今年度のIT補助金の最後の交付決定がなされ本年度のIT導入補助金事業は終了しました。今年はコロナ対策などの観点も踏まえ、昨年度末に急遽、臨時公募がなされたり、コロナ対応策として、サプライチェーンの毀損への対応、非対面型ビジネスモデルへの転換、テレワーク環境の整備等に取り組む事業者によるIT導入等を優先的に支援するための特別枠(C類型:補助率2/3~3/4)が設けられたりしました。また、例年のような数ヶ月間にわたる1次~3次程度までの公募期間と異なり、ほぼ毎月程度で締め切って、第10次まで小刻みな公募が行われ、一度不採択になっても再度、次の締切でリベンジできたりしました。

弊社においては、臨時公募から第10次締切分まで、全17社、延べ24回の申請をお手伝いしました。その結果、申請社数17社中、12社が交付決定され、会社ベースでの採択率は70.6%という結果を得ました。交付決定された12社中9社が補助率3/4のコロナ特別枠(テレワーク対応)での採択で、一般枠(補助率1/2)は3社でした。また、1社あたりの平均の補助対象額(システム価格)は233万円、補助金の額は177万円でした。

来年度(2021年4月以降)もIT導入補助金の公募がありますので、販売管理や生産管理などのシステムの導入をお考えの際には是非ともIT導入補助金の活用をご検討下さい。

編集後記

いよいよ日本にもワクチンが入ってきました。医療従事者から接種が始まり、高齢者や基礎疾患を有する人へは4月頃から接種が始まるようです。しかし、諸外国に比べるとかなり遅いようで、先進諸国の中では最低レベルだそうです。いろいろな要因があるのですが、ワクチンに限らずなにかと後手後手に回っているような気がするの私だけでしょうか。

IT補助金

採択率
70.6%
達成!